

2008年度 追手門学院大手前中・高等学校 学校評価について

本校では、学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する新たな規定が設けられ、幼稚園、小学校、大手前中・高等学校、中高等学校が互いに連携をとりながら、学校評価を実施しました。

学院創立120周年、学院教育理念「独立自彊・社会有為～自由と調和の人間教育をめざして～」のもと、本校は、「進学特化」を第一義とした教育改革を推進しています。「中学課程は大学入試の礎」の教育方針から「先取りせず定着学習を大切に」の考えによる進学実績向上の取り組みが、少しずつ評価され、志願者の増加およびレベルアップとなっています。教員各自の「生徒を伸ばす」意識の向上は勿論のこと、「学校評価」の根幹を支える「個人目標」の設定と「自己評価」は、自らを見つめ自らを伸ばす大きな研鑽力となっています。特に、ミドルリーダーとしての「主任」の自覚は、学年・教科への指導と結びつき、個から全体のものとして生かされ、生徒を伸ばすための教育改革の大きな推進力となっています。

今年度の結果を公表することによって、より信頼を高め、教育活動により一層生かす所存であります。

追手門学院大手前中・高等学校

校長 南 登章生

2008年度 学校評価 結果

【学校生活・総合】について

本校では、画一化した指導ではなく、少人数を生かした個別指導に重点を置いています。きめ細やかな一人ひとりを大切に、生徒の表情をしっかりと見つめた指導実践には高いご評価を頂いています。温かな声かけや継続した時間を惜しまぬ指導も大きな支えとなっているようです。加えて、厳しい中にも温かで熱意ある面倒見の良さが、生徒と教員とのコミュニケーションにも反映し、「担任の指導に満足」「学校生活は楽しく充実している」と評価も高くなっています。

【学習指導】について

教育改革を推進する中、生徒を伸ばすために自主的な学習力を身につける指導が、随所に見えるようになっています。すぐ上の学年の数値を超えることを目標に、過去の実践経験がうまく生かされ、模擬試験でも偏差値が順調にアップしています。結果、「先生は生徒の学習意欲を高める努力

をしている」温かく伸ばす追手門大手前としての評価が、中学入試にも表れ、志願者増とレベルアップにも繋がりがつあるようです。

先取りせず、定着学習を基盤とした学習システムが、生徒達の意欲から自信となり、優れた才能を育みつつあることが、日々の登校姿勢や授業姿勢にも積極的な向上心・向学心として表れています。

【生活指導】について

日常の生活習慣を身につけることから、朝の校門での挨拶、登下校の指導などから、きめ細やかで温かな指導を徹底しています。日々の「基礎学力の定着」指導は、偏差値アップとなり、持続力や向上心も倍加し、授業姿勢も向上しています。

「事前指導」を合言葉にした取り組みでは、快い挨拶に始まるマナー指導や言葉遣いの指導から、立派な社会人の育成を心掛けています。これらの指導は、本校の良い点として保護者にも十分に理解され、遅刻数、生徒指導件数の減少などにも指導成果が表れています。これは、生徒の多くが「学校生活は楽しい」と評価していることにも表れ、「学校は生徒間の良い友人関係を築く楽しい場」としての評価も高く、「笑顔の絶えぬ学校」と言われる所以と思われます。

【行事・クラブ活動】について

クラブ活動への参加と自治会活動の活性化を呼びかけ、クラブ加入の生徒数も飛躍的に増加し、教員の熱心な指導もあり意欲的で活発なクラブ活動となっています。

また、本校の特徴とも言える生徒達の心身の鍛錬にも通じる学校行事は、生徒の特性を伸ばすものとして入学当時から期待度も高く好評です。今後も、こどもたちの人間形成や心身の成長の大きな力となり大切な教育力であると考え、より良いものを検討し推進していきます。

【進路指導】について

担任指導の信頼と満足度は高い評価の数値を示し、教育改革を推進する上での第一目標である「担任力強化」の取り組みが好評価として表れ、面倒見の良さも高い評価となっています。

大学受験の教科指導や進学指導面では、授業アンケートや研修・研究授業を通して、教科の目標管理制度の取り組みを進め、教科力・授業力のスキルアップ研修に努めます。

本校の特色である「一人ひとりを大切にした、きめ細かいこころ温かな指導」を進学指導でも推進し、いま一度全教員で確認し、生徒のための更なる教育改革に努めます。

【保護者連携】について

保護者の皆様のご家庭でのご指導は、本校教育の大きな支えであることは言うまでもなく、保護者・生徒・教員の三位一体の体制は子供の成長に不可欠で、大切なものです。

学期ごとの『学校報』『PTAニュース』、学年では、随時『学年通信』を発行し、WEB上での連絡の掲載も試みつつあります。これらの情報提供やご家庭への連絡が、生徒と教員、特に担任との距離の近い指導となり、ご家庭での日々の話題になる事も多いと聞き、嬉しく思っています。

生徒理解と生徒を伸ばすために懇談の機会を多く持つように努めており、考査終了後の成績を元に、生徒を含めた三者懇談を一斉に実施しています。生徒の「表情の気づき」を大切にされた早期の指導と、家庭と学校との連携指導の大切さを、ご理解頂いていることを感謝しています。

【施設・安全管理】について

本館完成に伴い、生徒の利用動線を考えた学内整備と観葉植物の配置、壁面への絵画掲示と掲示板の設置などで、生徒の「憩いの場」や学習の環境整備に心掛けています。一方、中高創立60周年記念事業に向けて、学校史の関連展示などと、創立時の歴史を発掘し整理する作業も少しずつ進んでいます。新施設の利用と共に、美化や安全面から更なる点検と整備を進めています。また、美しい校舎と一体になった校風をより発展継続するために、一層のマナー教育・心身の育成や愛校心などを育む教育を推進したいと考えています。

追手門学院大手前中・高等学校